

パスカル数理ゼミを卒塾した先輩からのメッセージ

2021年 神戸大学医学部医学科合格 愛光学園卒 O.S.くん

このたび神戸大医学部医学科に合格しました。

1年おくれで入学することになるのですが、現役時は京大医学部を受け不合格となり、併願で受験した東京の私立大医学部医学科の入学を決めていました。ところが、新型コロナの影響で学校が一向にはじまらず、その学校の最大の特徴である寮生活もなくなることが決まり、だんだんと国立大に再チャレンジしたい気持ちが強くなり、再受験という形をとることにしました。

そこで現役生より1年多く勉強した身として、(現役時の受験のときまでパスカル数理ゼミでお世話になっていた) 数学について、いくつかアドバイスを書きたいと思います。

数学力のレベルに関わらず、数学で「苦しんでいる」人は多いと思います。僕も現役時はパスカルで自由に勉強させてもらいながら、「自分は普通の受験生並みにはできる」という自信はありましたが、調子が悪くなり思うように解けなくなるといったことにたびたび直面しました。(実際、現役時の京大入試でもそれに襲われました) そんなときには、どんなテストでも満点近くをとり、いかにも数学を「楽しんで」解いているような優秀な同級生がうらやましく思えました。結局、1年勉強してもそんな人達には遠く及びませんが、少なくとも入試にはある程度自信を持って挑むことができたと思います。

それは、基礎をより徹底したからだと思います。

公式の成り立ちを理解したり、基本問題をさまざまな角度から考えてみたりしながら、全分野「教科書+ α 」レベルの問題なら漏れなく解けるようにすることが大切です。

しかし、実はそれが一番難しいのではないかと思います。ただ、ここを乗り越えられれば点数は一定水準を保てるようになり、あとは他科目の出来と相談しながら、入試問題で力をつけていけば良いと思います。

とはいえ……。自分はこのようなことが頭でわかっている、現役時は実行しきれていなかったのだと思います。

もう一つ、受験が近づいてくると、いかに時間内で高得点をとれるかを考えなければいけません。じっくり考えながら解く勉強は必要ですが、本番でそれをやると失敗のもどでしょう。過去問で、できる問題をスピーディーに解く、ミスがないかチェックする、できない問題は後回しにする、難問を見極めて一切手をつけない、などの「受験技術」を身に

つけてください。基本的に能力にあまり差のない集団が同じ入試を受けるはずなので、合否を分けるのはここだと思います。

大学入学を間近にした今、新生活の準備に追われながら、どこかそわそわしている感じがします。今まで、受験勉強という「やるべきことがある程度固定化された環境」の中で、かれこれ10年近くやってきたのが急になくなったことが理由の一つだと思います。

これから、大学で新たな目標や楽しみを見つけて頑張ろうと思います。長くなりましたが、パスカルには本当にお世話になりました。受験生の皆さん現役合格を祈っています！